

アスリートは、クリーンに競技を始める

- 教育を通して、アスリートがクリーンであり続けることをサポート
- 教育を通して、アスリートがクリーンスポーツを創る担い手となる過程をサポート
- アスリートライフを通して働き掛ける
- サポートスタッフ・関係者が全体的な環境を整備する



WADAバンカ会長
WADA Global Education Conference
(WADAグローバル教育会議)
2022.9.20

教育に関する国際基準 (International Standard for Education/ISE)

2021年1月より施行



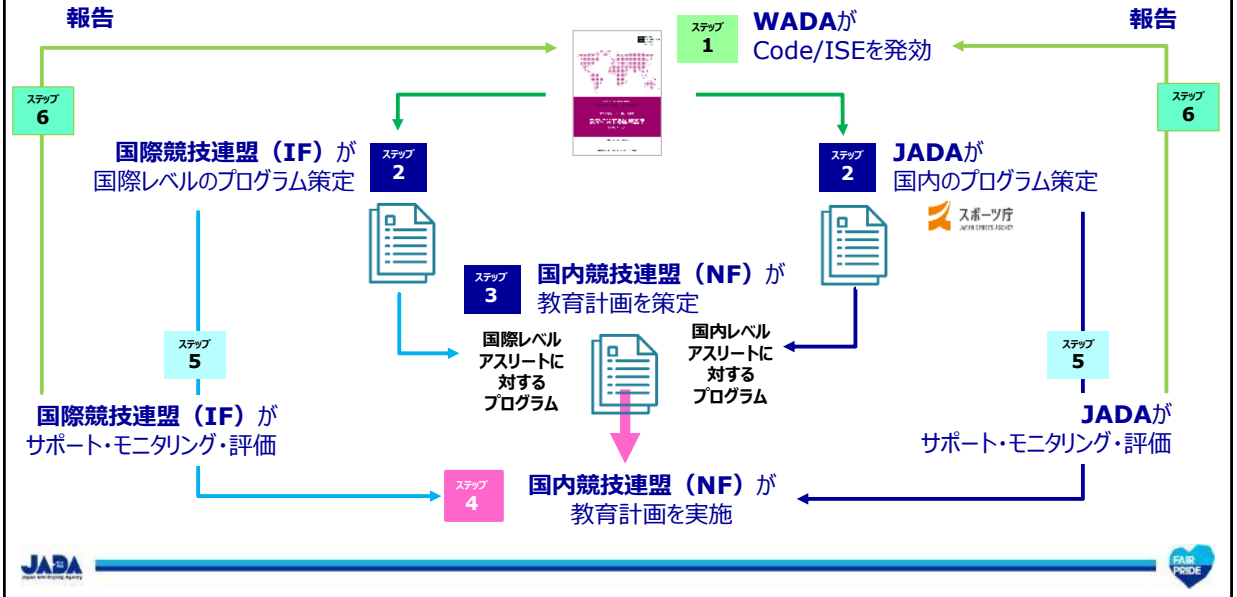
アスリートは、クリーンに競技を始める

- 教育を通して、アスリートがクリーンであり続けることをサポート
- 教育を通して、アスリートがクリーンスポーツを創る担い手となる過程をサポート

◆ スポーツの「国際基準」としての基本原則：

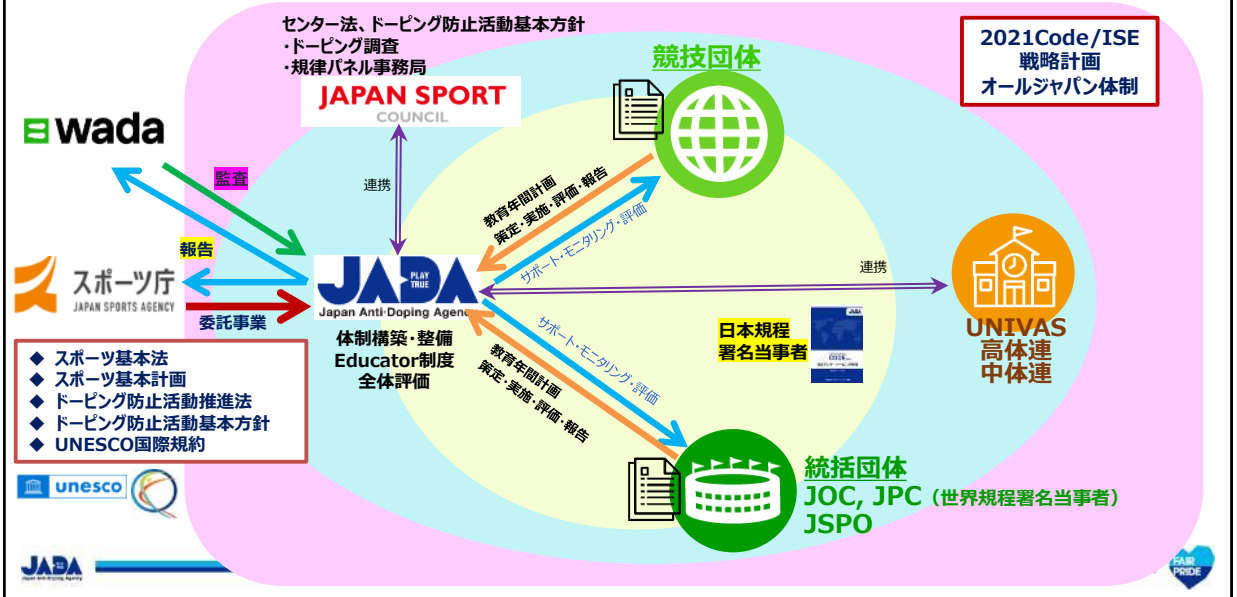
- ✓ アスリートのアンチ・ドーピングにおける最初の経験が検査よりも教育を通じて行われるべき
- ✓ アスリート・サポートスタッフが、競技大会前に教育を受けていること
- ✓ パスウェイに即した教育：若い世代からスポーツの価値教育
- ✓ 学習者のニーズに合わせて教育がカスタマイズされること
- ✓ 署名当事者間での協調（重複回避）

各競技における、国際基準（ISE） 準拠のしくみ



5

「2021Code/教育に関する国際基準の履行に向けた戦略計画」の推進： クリーンスポーツ環境を創り・クリーンアスリートを守る、オールジャパン体制



6

クリーンスポーツEducator制度開始に向けて

「2021Code/教育に関する国際基準の履行に向けた戦略計画」の推進

【2025年度までの達成目標】

加盟団体が、教育年間計画に基づく対面教育を実施するために必要な人数の承認Educatorを配置し、対面教育を実施することで、教育の効果をあげる。

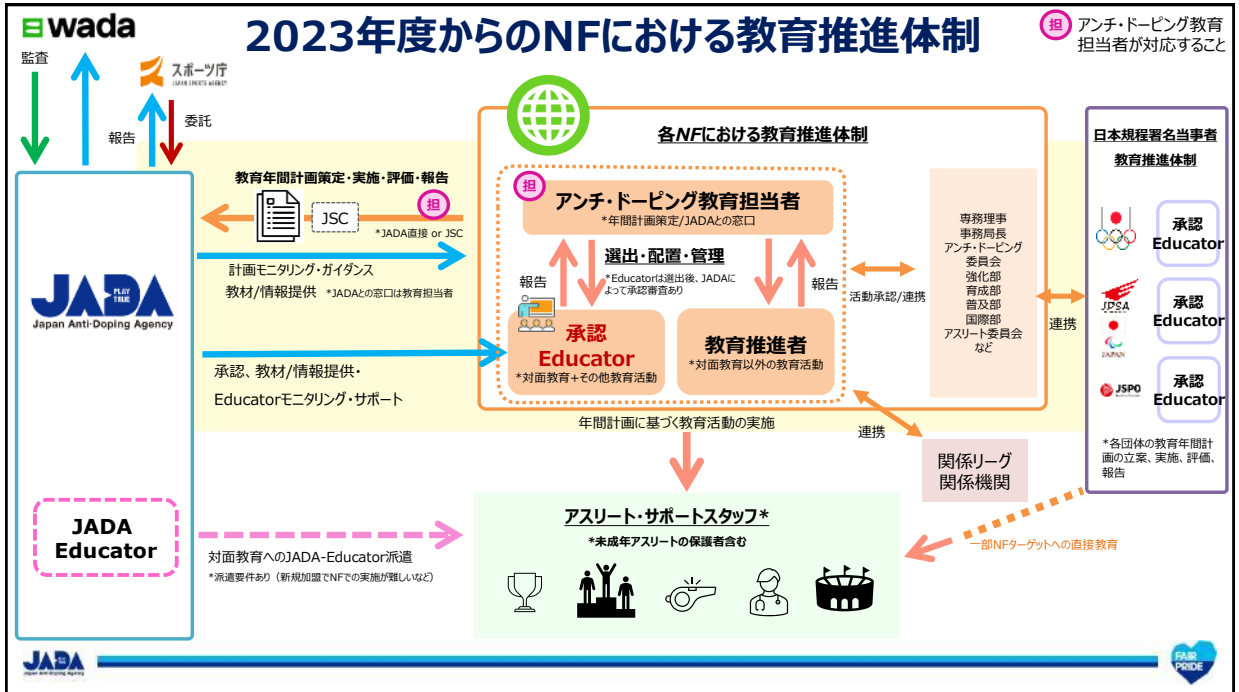
【2023年度における重点履行事項】

加盟団体

- IF主催国際競技大会派遣のための教育実施
- 育成対象に対する対面教育を、積極的に計画
- 対面教育の実施計画がある団体は、最低1名の承認Educator候補者の選出、配置

JADA

- 承認Educator候補者への承認研修の実施
- 対面教育の計画・対面教育実施内容へのアドバイス、実地オブザーブ等、対面教育実施に際するJADAからの各種ガイダンス
- 加盟団体による対面教育の推進体制支援のため、JADA-Educatorの派遣（要件あり）



JPC：パリに向けた中長期的な履行スケジュールとマイルストーン				2022.05.20
	2022年度 【計画導入期】	2023年度 【計画本格適用期】	2024年度 【定着期】	2025年度以降 【定着～検証】
国際的な動向	WADAによるモニタリング（質問票）	WADAによるモニタリング（監査）	次期Code策定に向けた検討	● 2027年Code改訂？
国内のマイルストーン（全体）	● WADA監査への対応 ● 教育戦略計画の履行開始 ● ISE/用語への理解	● 「派遣の前に教育」+「検査の前に教育」原則適用 ● Educator制度開始 ● 用語定着	● 役割と責務の再検証 ● モニタリング定着 ● Educator制度定着	● 次期Code改訂に向けた検討・対応
（上記、全体のマイルストーンの詳細）				
JADA	● WADA監査への対応 ● RTP/TPへの教育担保 ● Educator育成研修のトライアルを開始 ● 履行状況のモニタリング開始	● Educator育成開始	● Educator制度定着	
署名当事者 (JOC, JPSA, NF, JSPO)	● 各署名当事者の役割と責務への理解・履行 ● 教育戦略計画に基づいた教育の実施・JADAとの連携開始	● 「派遣の前に教育」+「検査の前に教育」原則適用 ● JADAとの連携強化		
JPC	教育戦略計画に基づいた教育体制の構築準備	アジアパラ派遣前教育の実施	パリパラリンピック派遣前教育の実施	・パラリンピック時の派遣前教育の振り返り ・アジアユース派遣前教育の実施
JPC→NF	アンチ・ドーピング活動を行うための体制整備 ①教育（年間計画, Educator） ②スポーツファーマシストのプールを増やしたうえでマッチング ③NFのアンチ・ドーピング体制のヒアリング	アンチ・ドーピング活動を行うための体制整備 ①教育（年間計画, Educator） ②スポーツファーマシストのプールを増やしたうえでマッチング ③NFのアンチ・ドーピング体制のヒアリング	・年間計画に基づいた教育の実施を求める ・JADA個別加盟後のNFへのフォローアップ、状況確認（必要に応じて年間計画も確認）	・年間計画に基づいた教育の実施を求める ・JADA個別加盟後のNFへのフォローアップ、状況確認（必要に応じて年間計画も確認）
JPSA / JPC×JADA (×NF)	全スポでの啓発活動の実施（ポスター）	・アジアパラ派遣前教育の内容の相談、実施 ・全スポでの啓発活動の実施	・パリパラリンピック派遣前教育の内容の相談、実施 ・全スポでの啓発活動の実施	・アジアユース派遣前教育の内容の相談、実施 ・全スポでの啓発活動の実施

36






2024年度までの国際総合大会とJPC, NF, JADAの役割			
主な国際総合大会			
	2022年度	2023年度	2024年度
JPCが派遣する総合大会 (教育主体はJPC)		杭州2022 アジアパラ競技大会	パリ2024 パラリンピック競技大会
NFが派遣する総合大会 (教育主体はNF)		IOSDs総合大会 ・Virtusグローバルゲームズ ・IBSAワールドゲームズ ・IWAS/CPIISRAワールドゲームズ ・冬季デフリンピック	
役割			
JPC	教育戦略計画に基づいた教育体制の構築準備	アジアパラ派遣前教育の実施	パリパラリンピック派遣前教育の実施
NF	①アンチ・ドーピング教育 ・年間計画の作成 ・適切なエデュケーター候補者選定、 基礎的知識習得等の、 承認研修参加準備 ②NFのアンチ・ドーピング体制整備 ③JADAへの直接加盟への取り組み	アスリートの教育履歴の確認 ・強化指定選手 ・大会派遣選手	
JPSA / JPC x JADA	全スポでの啓発活動の実施	アジアパラ派遣前教育の内容・実施方法の相談・決定	パリパラリンピック派遣前教育の内容・実施方法の相談・決定
JADA	RTP/TPへの教育 Educator育成研修のトライアル開始	エデュケーター承認研修開始	

37

教育年間計画策定のステップ

1. **教育ターゲット**を設定する
2. プログラム全体の**目的**を設定する
3. 各ターゲットの**プログラム目標**を設定する
4. **教育アクティビティ**を計画する
5. 各教育アクティビティで扱う**トピックス**を設定する
6. 各教育アクティビティの**学習目標**を設定する
7. **モニタリングと評価**を設定する
8. 計画を**共有**する
(団体内、JADA)

計画策定とアクティビティ実施の役割分担

各団体	教育担当者	承認Educator	教育推進者
教育推進における役割	 団体内の連携 (強化・育成・広報 など)  教育計画推進 承認Educator の管理	 対面教育 の 設計・実施・ 報告、省察  対面教育以外 の アクティビティの 実施・報告	 対面教育以外 の アクティビティの 実施・報告
教育計画策定における役割	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 教育ターゲットを設定 ✓ プログラム全体の目的を設定 ✓ 各ターゲットのプログラム目標を設定 ✓ 教育アクティビティを計画 ✓ モニタリングと評価を設定 ✓ 実効性向上のため、承認Educator、教育推進者、その他NF内の関係部署と計画を共有 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 学習者に応じた学習目標を設定 ✓ セッションで扱うトピックスを設定 ✓ 学習目標を基に適切な対面教育の設計（活動設定）、実施 ✓ 実施した対面教育について教育担当者への報告 ✓ 自身の省察 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ JADA教材、キット等を活用して活動実施 ✓ 実施した活動について教育担当者への報告

クリーンスポーツEducatorとは？



70

Educator（教育者）の定義

★前提：教育＝専門領域として捉える



【Code 18.2.2 署名当事者による教育プログラムの実施】

教育プールを対象とした教育活動は、「教育に関する国際基準」に定められた要件に従い
研修を受け、認定された人より実施されるものとする。

第18.2.2項の解説:

この条項は、教育者（Educator）の概念を導入することを目的としている。教育は、研修を受け任命されたドーピング・コントロール・オフィサーのみが検査をすることのできる検査と同様に、**研修を受け能力（Competency）のある人によってのみ実施されるものとする。**いずれの場合においても、**研修を受けた者は、競技者を保護し、実施に関する一環した水準を維持することが要件となる。**教育者に関する簡易な認定プログラムの導入に関する更なる詳細については、施行される介入のベストプラクティスの例を含んだ「教育に関するWADAモデルガイドライン」においてその概要が示されている。

教育に関する国際基準（ISE）の定義

Educator（教育者）：

教育を提供するための研修を受けた者であって、当該目的のために**署名当事者により認定された者**をいう。

5.8 署名当事者は対面教育を実施する責任を有する教育者（Educator）を選任するものとする。

教育者は、価値を基盤とした教育、並びに世界規程第18.2条、教育に関する国際基準、及び教育に関するガイドラインに概説されている**すべてのトピックスに堪能であるべきである。**

71

日本規程におけるEducator（教育者）の定義



【日本規程 17.2.2】

教育対象プールに対する教育アクティビティは、「教育に関する国際基準」に定められた要件に従い研修を受け、認定された人により実施されるものとする。

教育者(Educator)の育成の枠組みはJADAが設定する。その枠組みに基づきJOC、JPC及びJSPO、国内競技連盟は教育者を任命、活用、育成し、競技者とサポートスタッフに適切な教育を実施するものとする。

【第17.2.2項の解説】

この条項は、教育者(Educator)の概念を導入することを目的としている。教育は、研修を受け任命されたドーピング・コントロール・オフィサーのみが検査を実施することのできる検査と同様に、

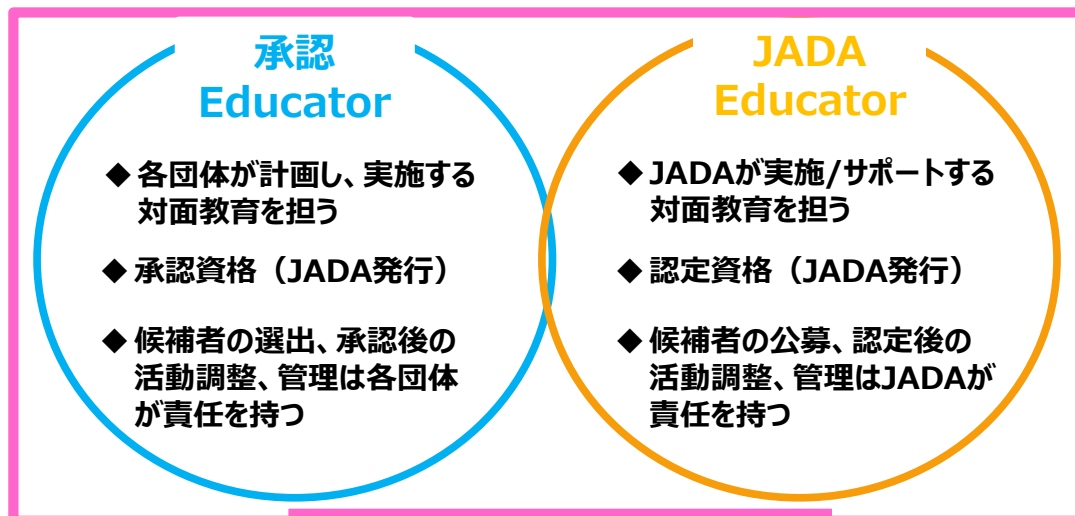
教職課程修了者等の教育について基礎的な資質能力を持ち、かつ必要な研修を受けた人によってのみ実施されるものとする。

いずれの場合においても、**研修を受けた者は、競技者を保護し、実施に関する一環した水準を維持することが要件となる。**教育者に関する簡易な認定プログラムの導入に関する更なる詳細については、施行されうる介入のベストプラクティスの例を含んだ、「教育に関する国際基準のガイドライン」においてその概要が示されている。



72

クリーンスポーツEducatorには、2つのカテゴリーがあります



制度設計、承認・認定はJADAが行う



73

各加盟団体における教育アクティビティ実施者 2023年からの変更点

各加盟団体より選出された
「教育活動者」



変更後



承認Educator

対面教育

啓発

情報提供



教育推進者

啓発

情報提供

承認Educatorの目的・役割

2021Codeと「教育に関する国際基準 (ISE)」 での原則

◆ 検査の前の教育

◆ 派遣の前の教育

承認Educatorによる対面教育を通して、
アスリート・サポートスタッフ自らが責任ある意思決定ができ、
スポーツの価値を護り・育むことに主体的に取り組む
「クリーンスポーツ行動」を実践する力を養う

IFやAFから求められる、 承認Educatorによる教育実施

各国際競技連盟やアジア競技連盟等において、
国際競技大会の派遣要件として、
アンチ・ドーピング機構による研修を受け承認された
「承認Educator」による大会派遣前の教育の実施、
教育実施の証明書 (Certificate)などの提出が
求められている

「クリーンスポーツEducator」の役割

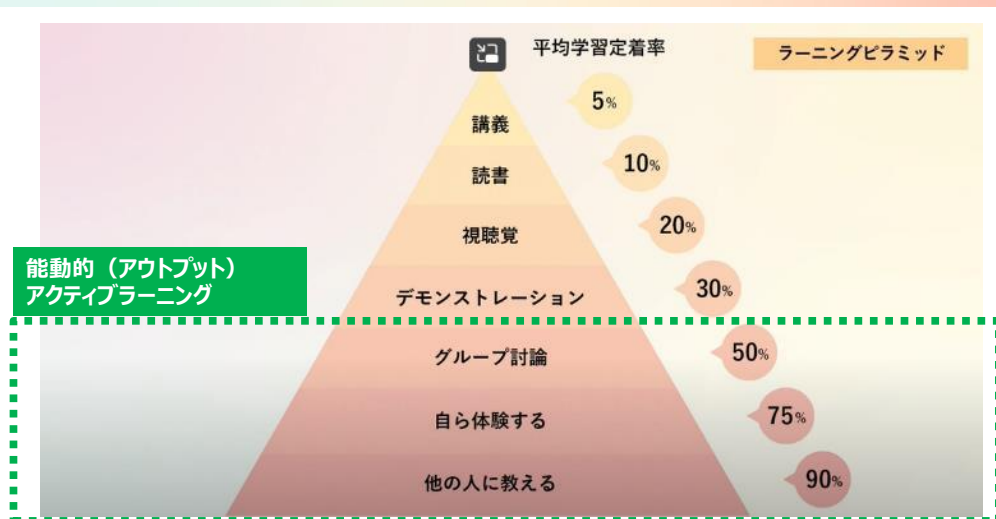
「対面教育（オンライン・オフライン）」の実践

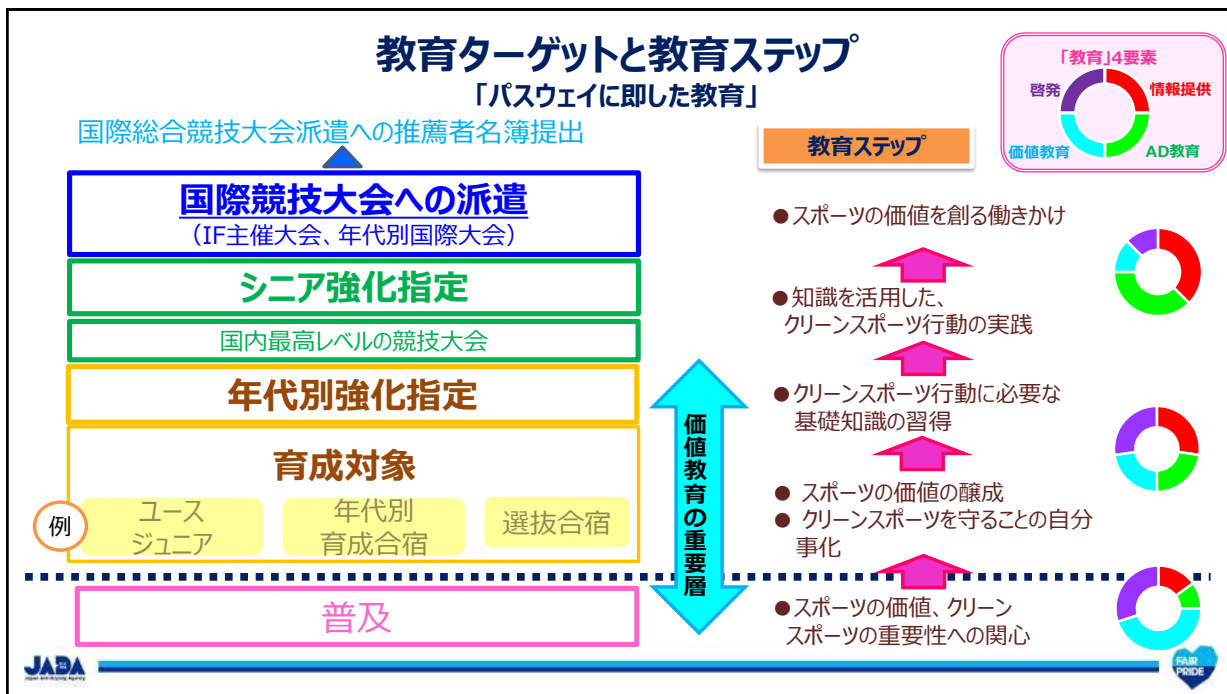
対面教育？

教育ターゲット（アスリート、サポートスタッフなど）が、
知識の獲得のみならず、知識を基に
自らがクリーンスポーツ行動を実践するための方策や、
他者との意見交換を通じて、
考え方や価値観を深める・拡げることを目的とした
教育アクティビティを設計・実践

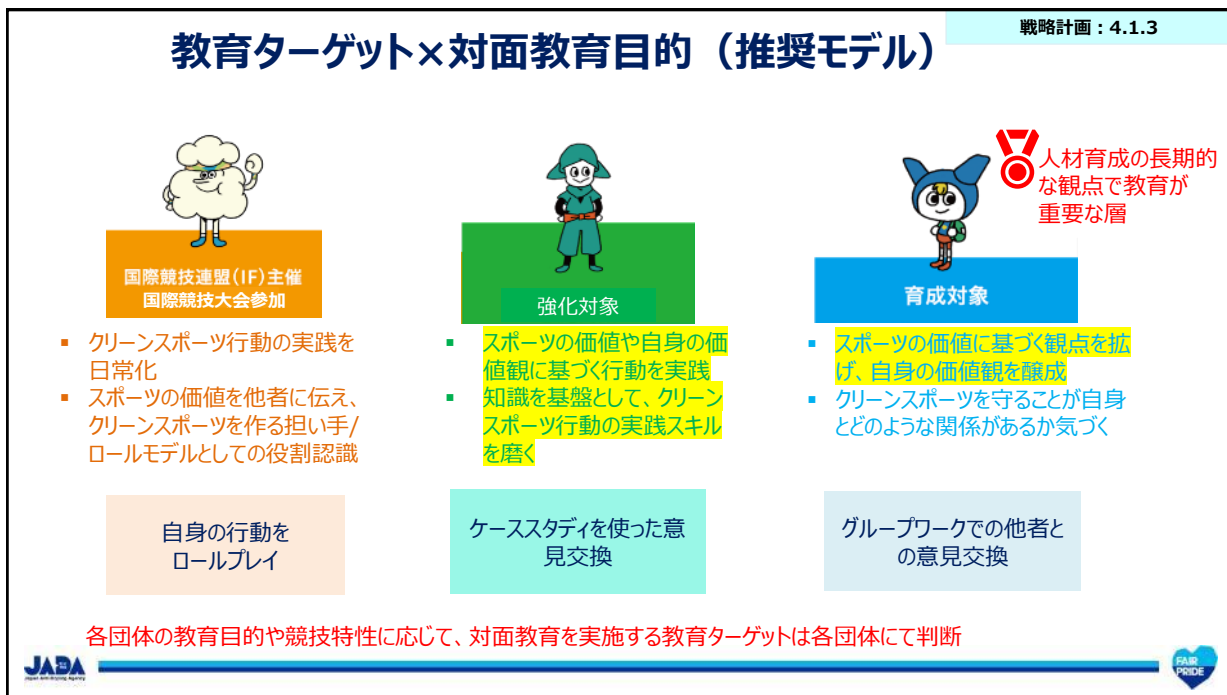
学習者の学びにおける アクティブラーニングの重要性

* 参考





80



81

承認プロセス



86

「承認Educator」になるための承認プロセス<承認まで>

教育年間計画 策定前



11月末
～12月
初旬

- JADA指定ウェビナー含む、Eランコース受講
- コース受講完了時、修了証発行
- 修了証は各団体が確認、管理

知識の担保

教育年間計画 策定時



1月

- 候補者名の記載
- Eラン修了証のデータを教育年間計画と共に提出

適任者の選任

承認研修 ※必須



6月～7月

- 2日間対面研修
- 模擬プレゼン
- 事前学習【動画視聴】あり
- アセスメント実施
- 確認テスト実施
- 行動規範誓約書提出

研修後、[教育担当者]へ承認有無の結果通知、承認証の送付

実践的指導力に基づく研修







1
年
間
承
認
証
発
行

87

承認研修の学習目標 (コンピテンシーに基づき設定)

正確な知識を基にした 基本的な設計力・実践力・省察力の習得

	設計力	単位時間の進行計画 「はじめ・導入～なか・展開～おわり・まとめ」
	実践力	プレゼンテーションスキル 発問、教材、応答 課題提示スキル、双方向性の確保
	省察力	成果と課題の明確化、省察
	価値観・素養	承認Educatorコミュニティへの貢献・意欲



88

「承認Educator」になるための承認プロセス<承認後>

対面教育 実践期間（年2回）



- セッション設計
- 設計に基づく実践
- 設計～実践の振り返り、学習目標達成評価 ⇒ 報告
- 自身の省察
- ✓ JADAの現地オブザープ
→ 即時フィードバック
- ✓ JADAによるサポート
(キット提供、設計アドバイス、最新/
参考情報配信、その他相談対応)

効果的な教育
実践の担保

承認Educator 情報交換会 (仮称) ※任意



11月～1月

- 実践からの学び共有、コミュニティ形成
- 承認Educator同士の意見交換、高めあい
- JADAから学習者フィードバック傾向の共有
- JADAから最新情報の共有

継続的な学び/自己研鑽
・リフレクション

教育年間計画 活動報告



2～3月

計画に基づく教育実施成果
検証・評価・報告

- ✓ 教育目標達成度
- ✓ 各承認Educatorの実践回数・学習者からの評価
- ✓ 次年度の教育計画に向けた課題・改善点 等

次年度のEducator
候補継続判断

89

承認Educator : 最低2回の実践について

(Code 第18.2.2.項の解説)

教育は、研修を受け任命されたドーピング・コントロール・オフィサーのみが検査を実施することのできる検査と同様に、研修を受け能力のある人によってのみ実施されるものとする。いずれの場合においても、研修を受けた者は、

競技者を保護し、実施に関する一環した水準を維持することが要件となる。

□ 年2回のカウント

- 各Educatorごとに2回
- 複数の競技団体に承認Educatorを担う方は、各団体ごとに年2回実践
- 複数人でセッションを実施した場合は、実施した各自の実践回数としてカウント可
- 教育対象プール以外への対面教育の実践もカウント可

□ 各承認Educator年2回の実践要件は、2025年度から必須

- ✓ 対象・機会に基づく、適切な回数の対面教育を教育年間計画にて策定
- ✓ 計画された対面教育の件数に応じ、適切な人数の承認Educatorの配置

承認Educatorキット (仮称)

実践ツール



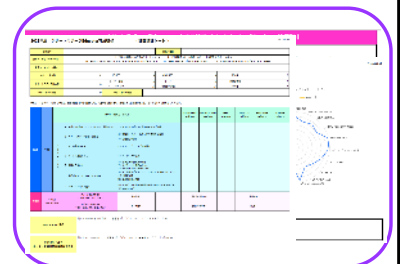
「クリーンスポーツ研修会」スライド
(承認Educator用)

※ルールのもと、スライドの追加差込み可



アクティブラーニングマテリアル

設計、リフレクションツール



- 計画設計シート
- セルフリフレクションシート
- 自己分析チェックリスト
- セッション実施報告書

+ JADAによるオブザーブに基づくアドバイス

2023年度 承認Educator 今後のスケジュール



96

2023年度承認Educator 今後のスケジュール

日程	内容
2022年11月中旬	承認Educator、2023教育年間計画： 補足説明動画 公開
2022年11月24日 <ライブ> 2022年11月30日～2023年1月16日 <オンデマンド> <small>※視聴期限は年間計画策定スケジュールに合わせて 各NFにてご調整ください</small>	ウェビナー「2023年禁止表国際基準とTUE申請のポイント」 ※承認Educator候補者受講必須 【申込締め切り：11月14日（月）12:00まで】
2022年11月末～12月上旬（予定）	承認Educator候補者向け Eラーニングコース開設 → ご案内
2023年1月中旬（toto助成申請期日）	承認Educator候補者 教育年間計画への記載
2023年5月上旬（予定）	承認研修申込開始
2023年6月17日（土）～18日（日） 2023年7月8日（土）～9日（日） 2023年7月の平日2日間（予備日として検討中）	承認研修



97